

経営理念を実現するために

経営理念の実現と企業としての社会的責任を果たすために、カシオ社員全員が実践しています。

創造憲章

「創造 貢献」の経営理念を創造的に実践していくために、一人ひとりが物事を判断し行動するための規準として2003年6月1日創立記念日に制定しています。



カシオ創造憲章

第1章

私たちは、
独創性を大切にし、
普遍性のある必要を
創造します。

私たちは、世の中に存在しない独創的な製品・サービスの開発と普及を使命とすることにより、「創造」の価値を見いだします。

複雑な数値を「簡単に計算したい」、さまざまな姿あるいは目に見えない情報を「音として聴きたい」「形として刻みたい」「伝達したい」…といった人々の普遍的かつ根源的な欲求を追求し、時間や場所あるいは空間を超えて、その合理性や必要性を創造しつづけます。

第2章

私たちは、社会に役立ち、
人々に喜びと感動を
提供します。

私たちは、独創的な製品・サービスの開発と普及によって、世界中の人々の生活を豊かにし、社会への役立ちを実行することにより、「貢献」の価値を見いだします。

製品およびサービスにおける「機能・品質・経済性・スピード・生産性・倫理性・安全性・環境適合性」を追究し、人々に期待以上の「喜び」と、これまでにない大きな「感動」を提供しつづけます。

第3章

私たちは、プロフェッショナル
として、常に誠実で責任ある
言動を貫きます。

私たちは、自助努力を怠りません。プロフェッショナルとして、毎日、「考え、行動し、変革する」ことで、あらゆる可能性を極限まで追求し、進化しつづけます。

「公正で、自由で、闊達な」企業風土を醸成し、社会との健全かつ正常なる関係を保持しながら、すべての言動において、誠実かつ責任ある態度を貫きます。

カシオ倫理行動規範

カシオ計算機株式会社ならびに、そのグループ会社に勤務する社員及び従業員は、業務上はもとより業務外においても常に秩序ある行動が強く期待されています。本規範は、社員ならびに従業員一人ひとりが日常活動の中で良識ある社会人として行動し、社会に貢献することを目的に、これを定めます。

1. 基本方針

私たちは、「創造 貢献」の経営理念のもと、お客様に感動と喜びを与える高い品質の商品、サービスを創造し提供する組織人としての誇りと責任を持って行動すると共に、社会人としての日常活動では自己責任ある行動を心がけます。そのための基本項目として、

- ① 独創的で高品質の商品を市場に提供し、業界の最先端をいく技術、技能、知識を身につけ、常に自己研鑽に努めます。
- ② 積極的な理解、参画と協業で、社内外からの信頼を育みます。
- ③ 社内外の規律やルールを遵守し、良き市民、良き企業人として行動します。
- ④ 役割の遂行や目標の達成を通して、会社の発展と社会への貢献を果たします。
- ⑤ お客様や取引先等の皆様との良好な関係づくりに努めます。

2. 行動規範

2-1 法律と規則の厳守

私たちは、一般社会人に求められる社会規範を守って行動するとともに、業務に必要な法律や社内規則は専門的な理解を図り、誠実に実行し、秩序ある行動をします。

- ・業務に係る主な法規制等

2-2 人権の尊重

私たちは、お互いを尊重し、差別のない協力しあう行動を大切にします。一人ひとりの人権を尊重し、性別・信条・宗教・人種・社会的身分や身体障害等を理由にした差別的言動や嫌がらせを排除し、個人のプライバシーを守ります。

社会的に関心が高い領域

- ・性的な嫌がらせによる不利益行為（セクシャルハラスメント）
- ・職務権限を使った部下への圧力行為（パワーハラスメント）
- ・宗教・信条への批判または強制
- ・人種、出身、家系等への偏見差別的行為

2-3 公私の分別

私たちは、会社での権限や立場を利用して特定のお客様等を有利に扱ったり、その見返りとして接待や贈答を受けるような反社会的な行動は慎み、一人ひとりが公私のけじめを明確にします。

社会的に関心が高い領域

- ・業務上の取引に伴う金品の授受や接待

- ・特定会社への便宜供与

- ・インサイダー取引

- ・会社設備や備品の私的利用（過度な私用電話、Eメール等）

2-4 機密情報の取扱い

私たちは、機密情報の管理基準を理解し、会社の情報の取扱いに細心の注意をはらいます。

社会的に関心が高い領域

- ・発明・発見・意匠・商標等の知的財産情報
- ・未発表製品、新規技術等の機密技術情報
- ・人事、営業取引条件等の経営機密情報
- ・取引先、顧客等の特定の個人を識別できる個人情報

2-5 環境保全

私たちは、環境の維持保全の重要性を理解し、地球環境を守る日常活動を自主的かつ積極的に推進します。

社会的に関心が高い領域

- ・地球温暖化の防止策
- ・廃棄物の削減等
- ・リサイクル、リユースの拡大策
- ・有害物質の削減/廃除

2-6 商品、サービスの品質

私たちは、お客様の信頼をえる機能、品質の優れた商品・サービスを開発し提供できるよう自己研鑽と改善に努めます。

2-7 企業情報の開示

私たちは、社会から信頼される透明度の高い経営をする企業を目指し、企業情報は適時適切に開示し、株主をはじめステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを積極的に行います。

2-8 社会的秩序の維持

私たちは、反社会的な活動には毅然とした態度で対応し社会秩序の安定と維持に努めます。

社会的に関心が高い領域

- ・不当な金品提供への応諾
- ・特定団体の物品、雑誌等の定期購入

2-9 地域社会への貢献

私たちは、地域社会の一員として日常活動を通して、地域の健全な発展と調和に貢献します。

品質への取り組み

「創造 貢献」——これはカシオの創業以来不変の経営理念です。カシオはこれまで、世の中になく独創的な商品を「創造」することによって社会に「貢献」し、その結果としてカシオも成長してきました。

カシオの商品を通して、お客様に喜び感動していただくための基盤である「品質づくり」に関してここに紹介します。

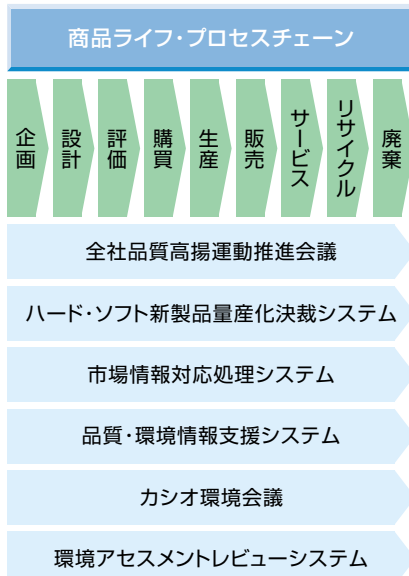
品質経営理念

カシオの「品質」とは、商品の「性能・機能性、操作性、デザイン等のユーザビリティ、安全性、経済性、サービス性に加え、環境保全、社会貢献」の総合的な活動成果と考え、「品質高揚」を品質経営理念に掲げて推進しています。

品質保証活動

製品及びサービスの「品質」を保証するため、商品の企画、設計、評価、購買、生産、販売、サービス、リサイクル、廃棄までの各業務プロセスに関する各種社内規格を作成し、遵守徹底の仕組みを運用し、「品質」の維持向上に努めています。

商品開発の業務プロセスとマネジメントシステム



社会貢献活動

イルカ・クジラ・ヒューマン募金助成支援

カシオは1994年の「国際イルカ・クジラ会議」を皮切りに、今年はいさーち・ジャパンを通じて「第3回イルカ・クジラ・ヒューマン募金助成活動」をサポートし、「Gショック」と「ベイベーG」の「国際イルカ・クジラ・エコリサーチ・ネットワークモデル」を発表しました。この売上金の一部は世界のイルカ・クジラ研究機関へ寄付され、研究者による教育・研究活動をバックアップしています。



TOKYOイルカ・クジラ・ステーション2002 イルカ・クジラ・ヒューマン募金助成活動・サポートモデルの紹介も行いました。

アイサーチ・ジャパンはそれ以外にも、展示企画「イルカ・クジラ・ステーション」、研究者等を迎えての「I.C.E.R.Cレクチャー」、ボランティアがイルカの個体識別調査を行う「御蔵島バンドウイルカ研究会」(御蔵島イルカ協会との共同プロジェクト)などの活動に取り組んでいます。7月には展示イベント「TOKYOイルカ・クジラ・ステーション2003」を開催。



国際イルカ・クジラ・エコリサーチ・ネットワークモデル (2003年6月発売)

グループ会社の活動

清掃活動を実施しています。

サイト名	活動名	内容	参加人数	開催日
甲府カシオ	クリーンアップ・デイの実施	周辺通路まで広げて清掃	119名	2002年6月28日
		一町畑区公会堂敷地周辺を清掃	116名	2002年12月28日
高知カシオ	シバ清掃の実施	国分川周辺を清掃	38名	2003年2月2日



国分川周辺のシバ清掃を行いました。

財団法人カシオ科学振興財団の活動

財団法人カシオ科学振興財団は、1983年より「特に萌芽的な段階にある先駆的かつ独創的研究を助成すること」を主眼に助成を行ってきました。2002年度は、研究助成として合計42件・総額55,640千円の助成を行いました。今回は財団設立20周年を記念し、現在最も注目を集めている科

学技術のひとつである「燃料電池に関する研究」を特別テーマとして加えました。



研究助成金贈呈式の様子